

市民活動・コミュニティ活動の 実態調査



● 調査対象:

全国で市民活動・コミュニティ活動をしている団体（NPO、地域活動、サークル活動など）

● 回答締切:

2024年1月15日(月) 23:59

調査概要



調査概要

- 調査目的：市民活動・コミュニティ活動の運営についての
実態を把握すること
- 調査対象：市民活動・コミュニティ活動をしている団体
(NPO、市民活動、地域活動、サークル活動)
- 調査内容：事業・活動/組織/IT/広報/資金/課題、など
- 調査期間：2023年12月1日～2024年1月15日
- 回答数：513団体
- 調査主体：NPO法人CRファクトリー
調査責任者 呉 哲煥(ご てつあき)



調査協力団体

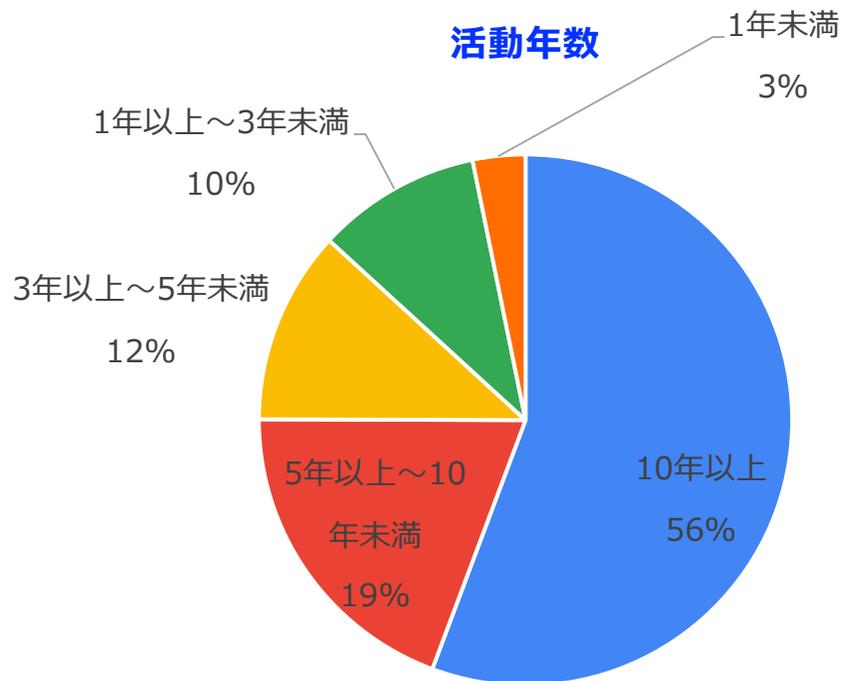
- 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる／みやぎNPOプラザ
- NPO法人まつどNPO協議会／まつど市民活動サポートセンター
- しろい市民まちづくりサポートセンター
- NPOくまがや／熊谷市市民活動支援センター
- かわさき市民活動センター
- 認定NPO法人新潟NPO協会
- 魚沼市集落支援員
- NPO法人やまぐち県民ネット21／やまぐち県民活動支援センター
- 特定非営利活動法人町田県CSO推進機構 町田市市民活動プラザ事業部
- 一般財団法人くまもと未来創造基金
- 一般社団法人幸せなコミュニティとつながり実践研究所
- 一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス

町田編

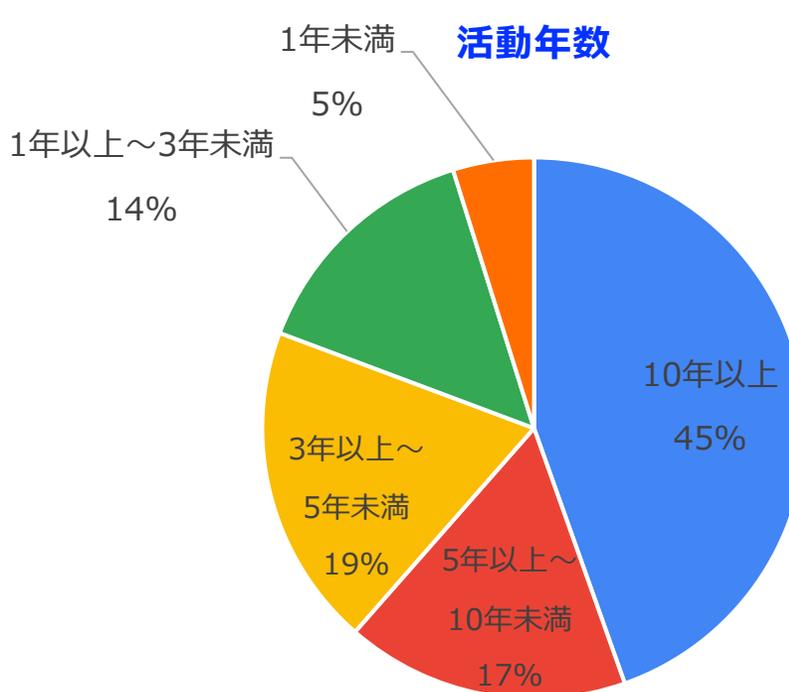
活動年数

サンプル全体に比べて「10年以上」の割合が低い

サンプル全体(501)



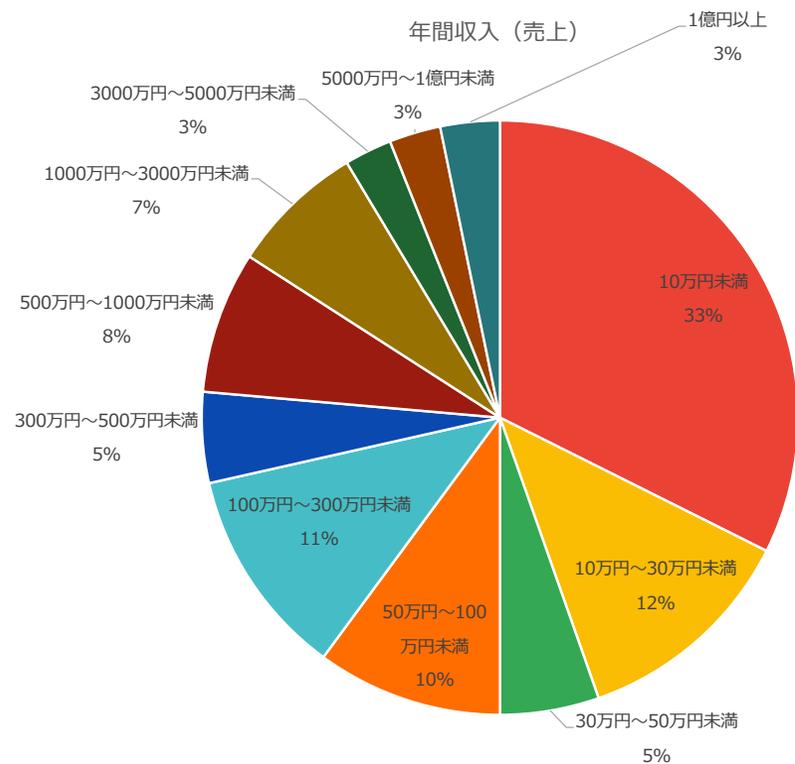
町田(83)



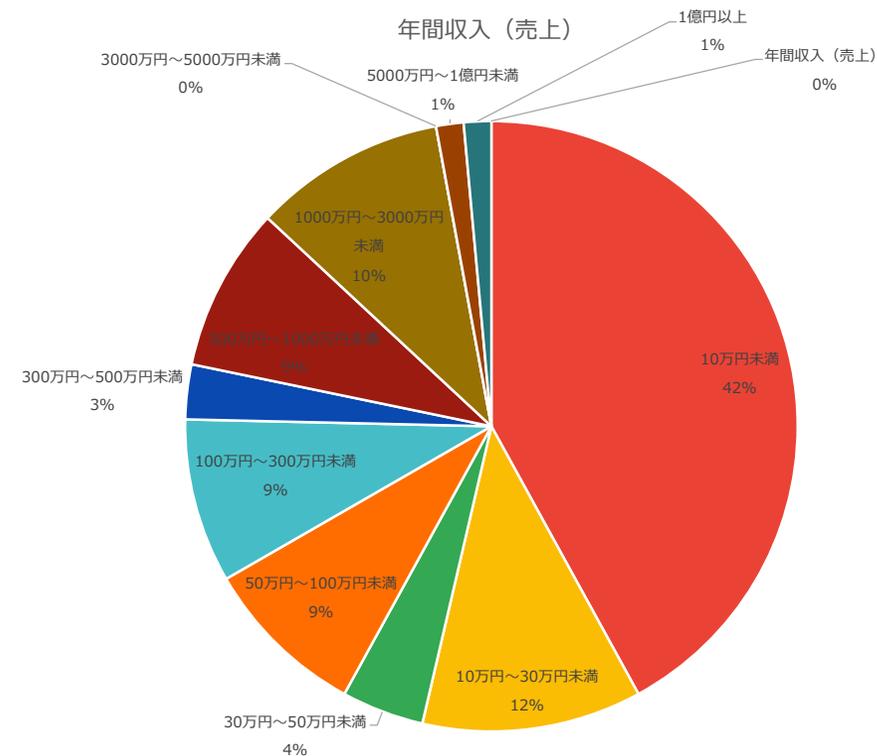
年間収入

サンプル全体に比べて「10万円未満」の割合が高い (1億円以上が1団体)

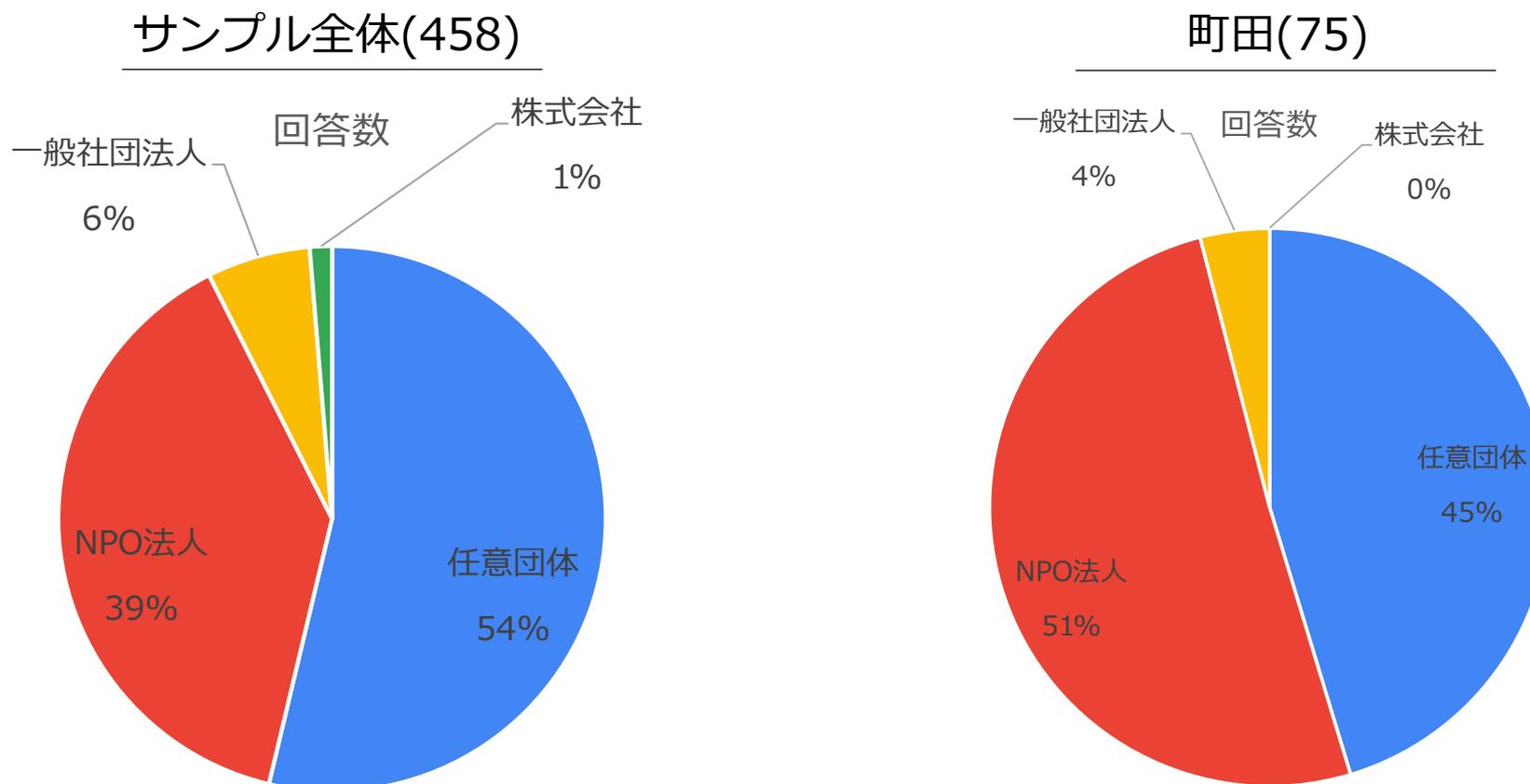
サンプル全体(466)



町田(69)



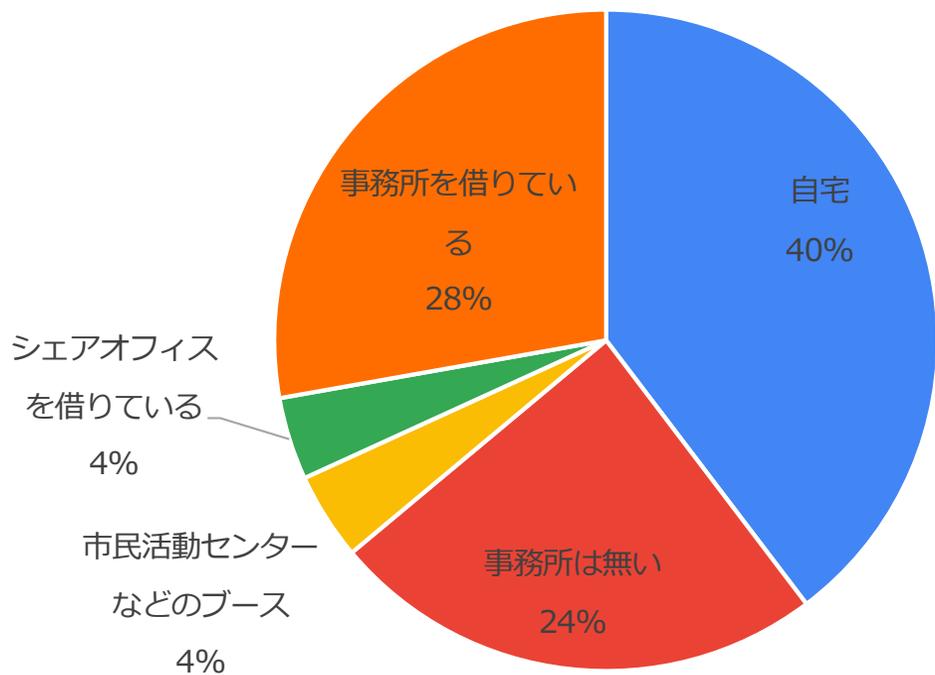
サンプル全体に比べて「NPO法人」の割合が高い



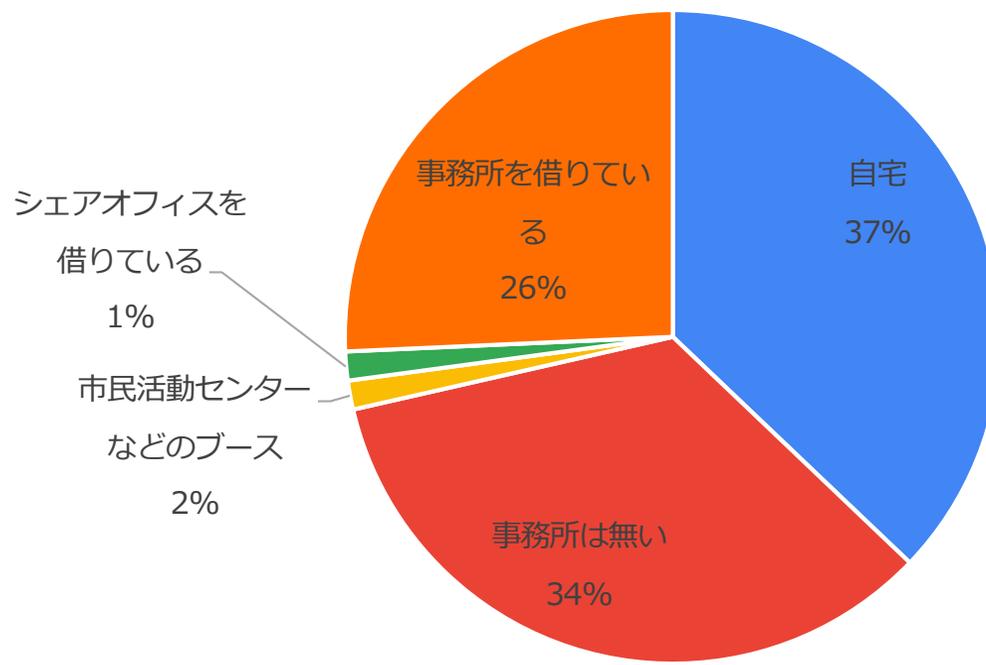
事務所の場所・形態

サンプル全体に比べて「事務所は無い」の割合が高い

サンプル全体(446)



町田(28)



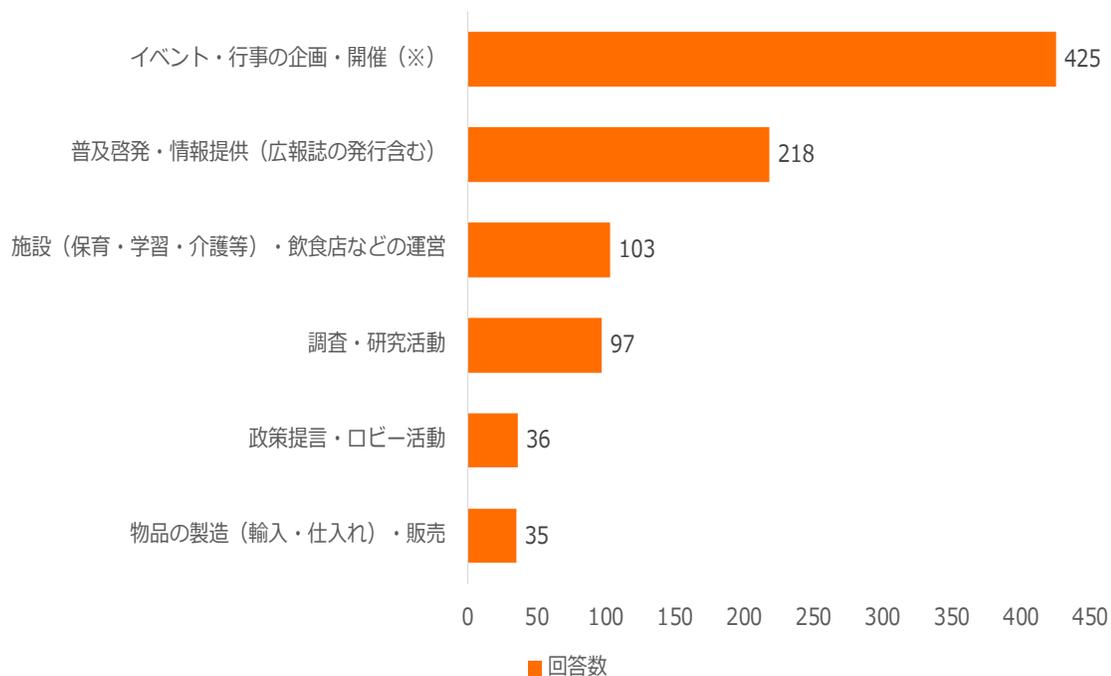


主な活動内容

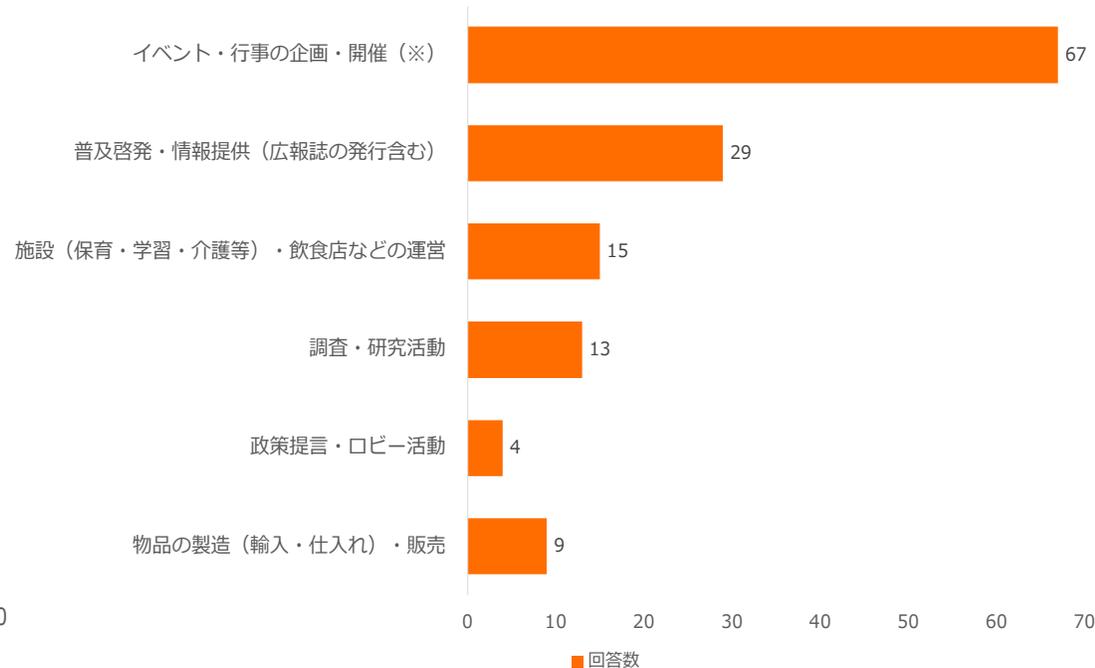
Q2. 主な活動は次のうちどれにあてはまりますか？
あてはまるものをすべて選んでください（複数回答可）

サンプル全体に比べて「物品の製造・販売」の割合が高い

サンプル全体(914)



町田(137)

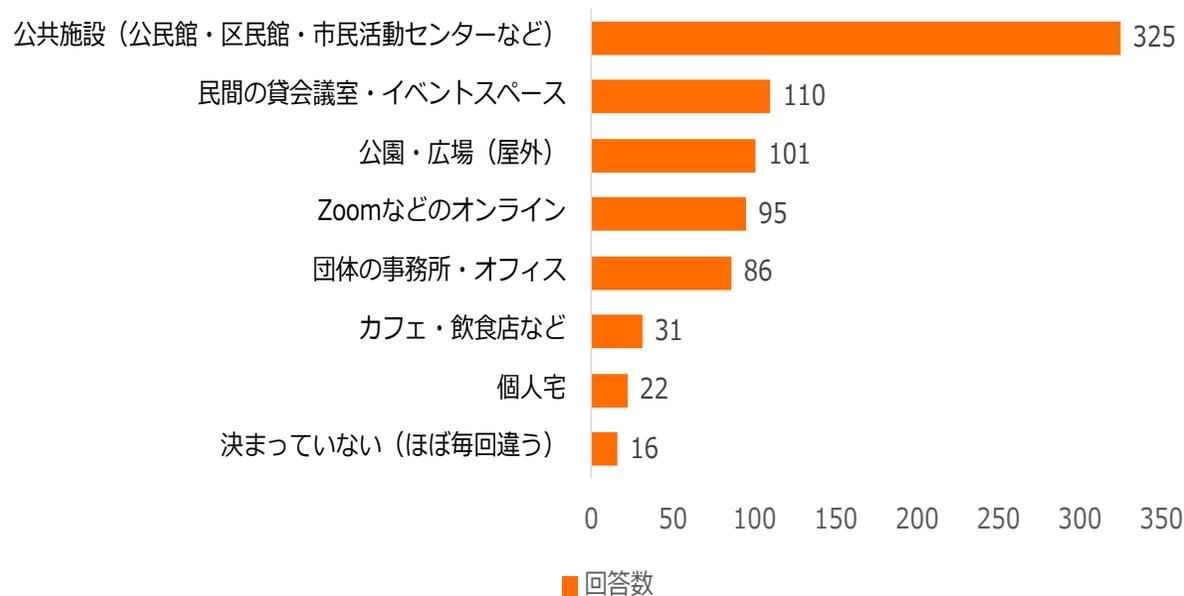


イベント開催場所

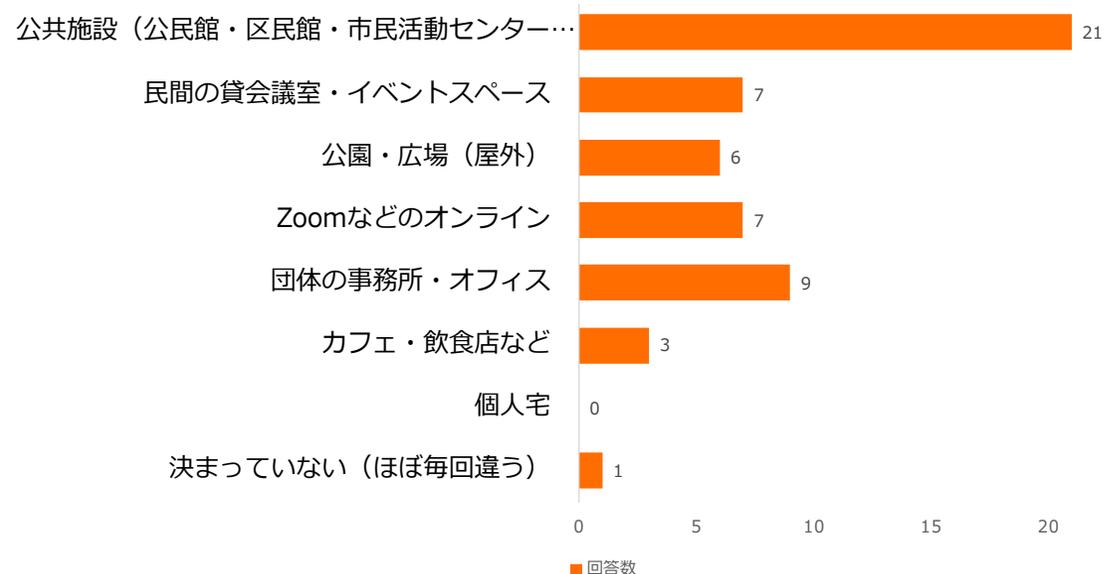
Q3.団体の主要なイベント・行事は主にどこで行っていますか？（複数回答可）

サンプル全体に比べて「団体の事務所・オフィス」の割合が高い

サンプル全体(786)



町田(54)



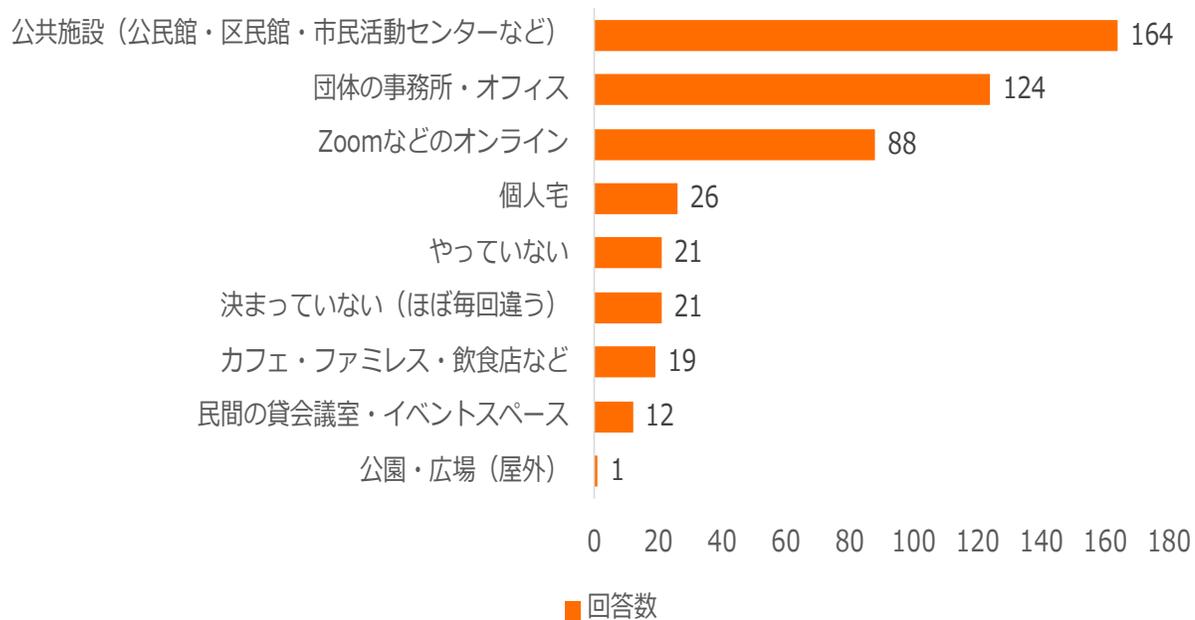


ミーティング開催場所

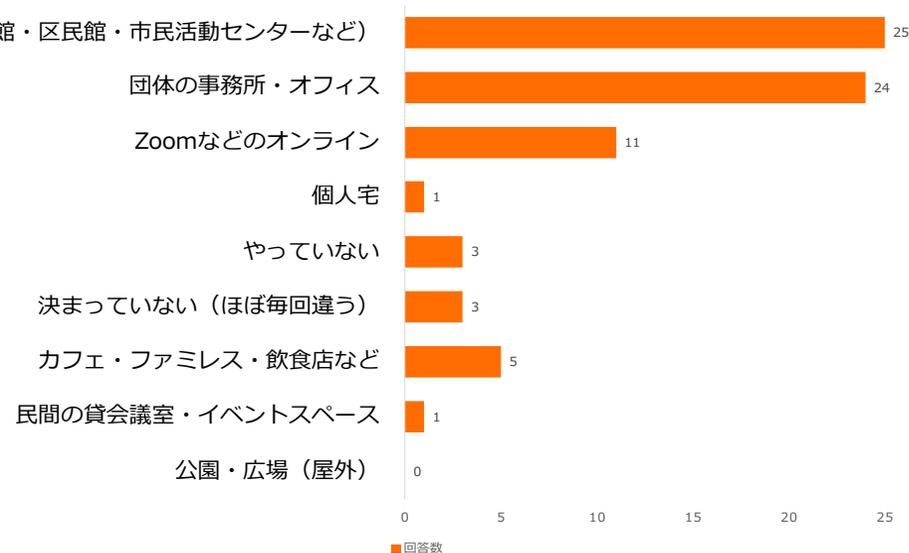
Q15.ミーティングは主にどこでやっていますか？

サンプル全体に比べて「**団体の事務所・オフィス**」の割合が高い

サンプル全体(476)



町田(73)

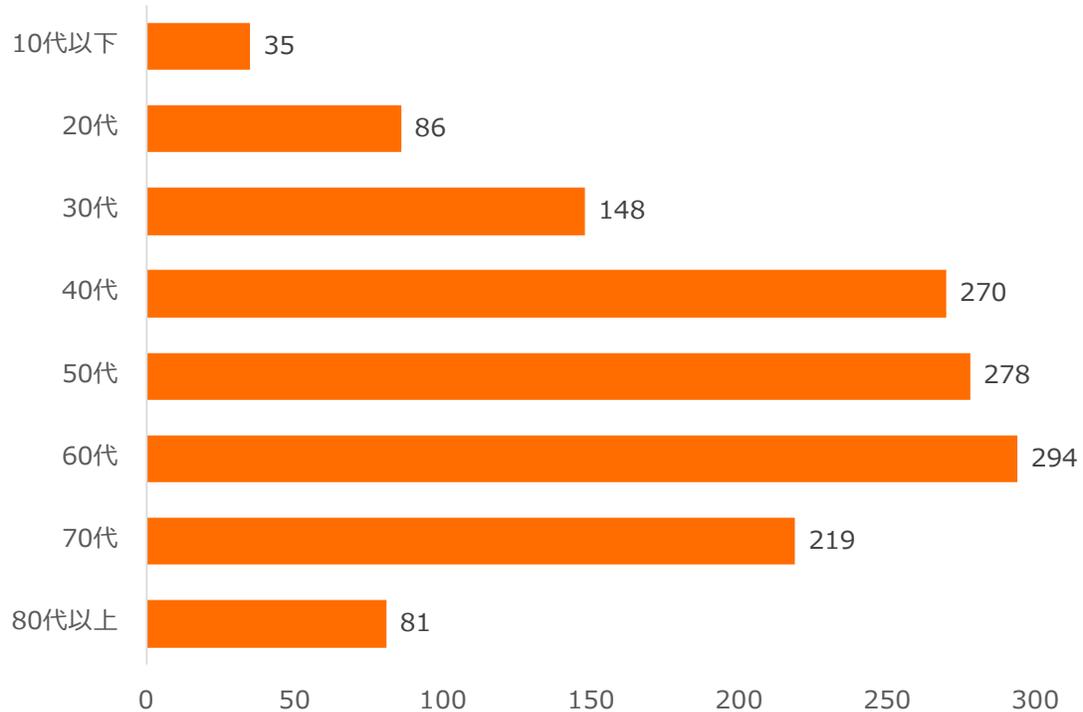




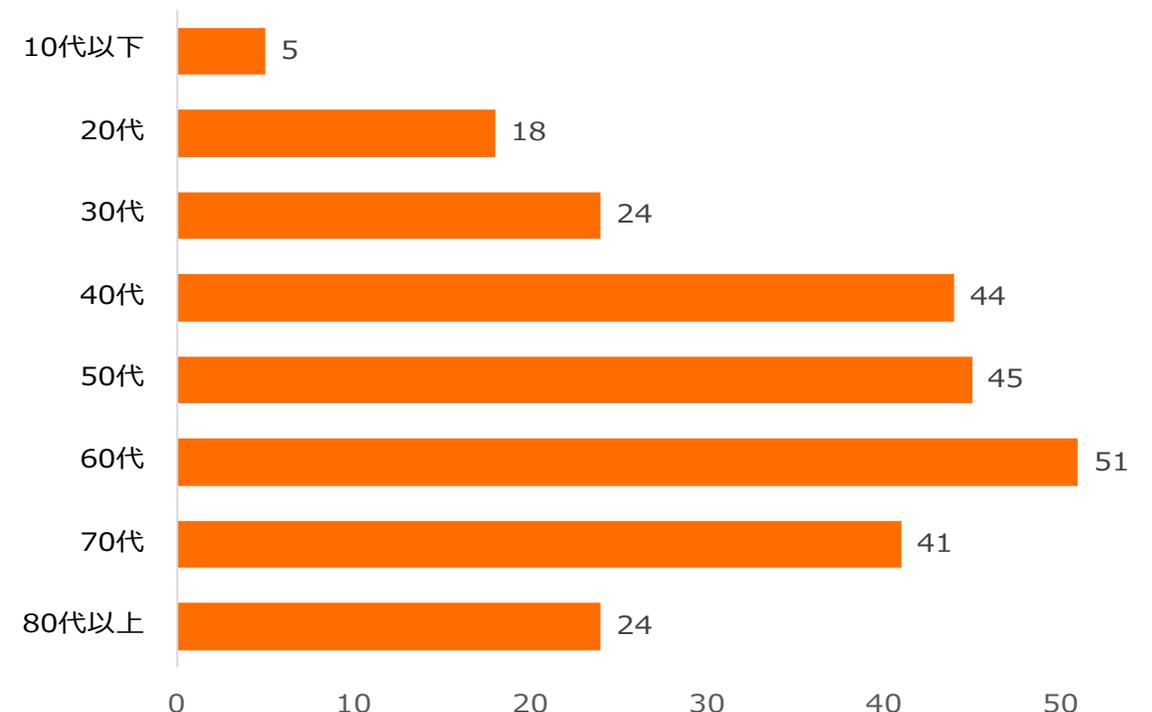
メンバーの主な年齢層（複数回答可）

サンプル全体と**ほぼ同じ傾向**が見られる

サンプル全体(1411)



町田(252)





主な収入源

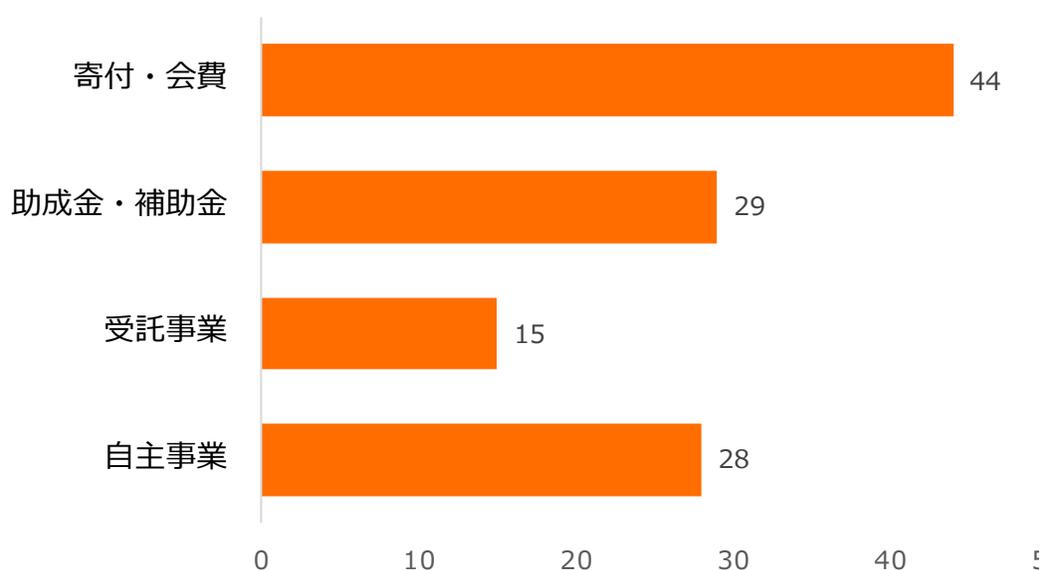
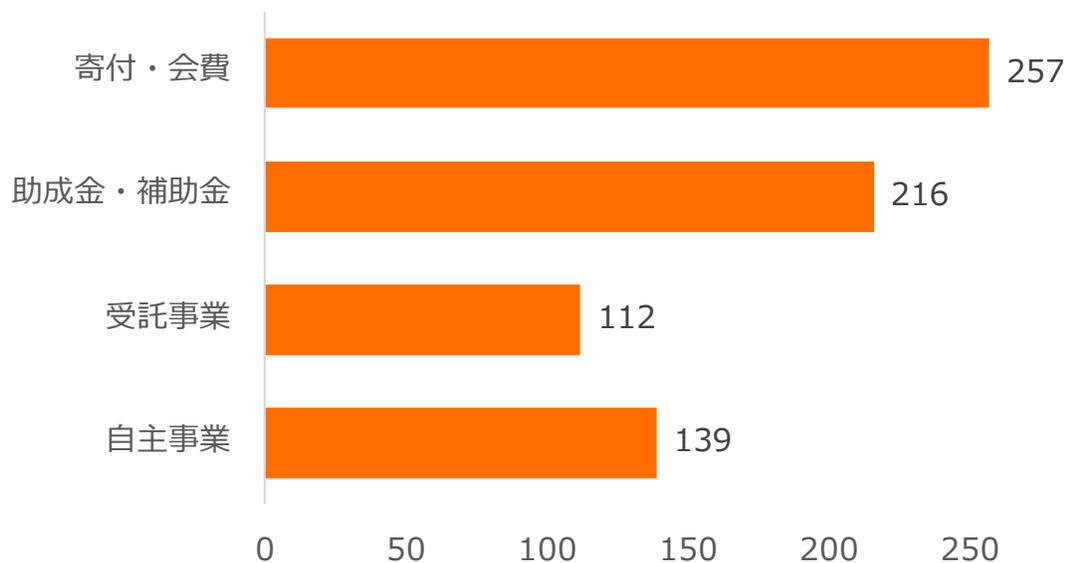
Q39.主な収入源は何ですか？

(金額が大きいものを1つまたは複数選択してください)

サンプル全体と**ほぼ同じ傾向**が見られる

サンプル全体(724)

町田(116)



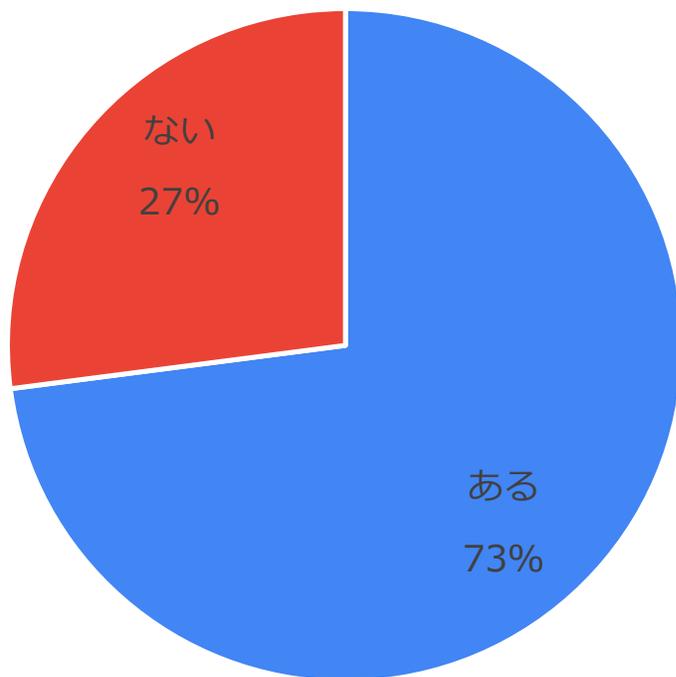


助成金活用

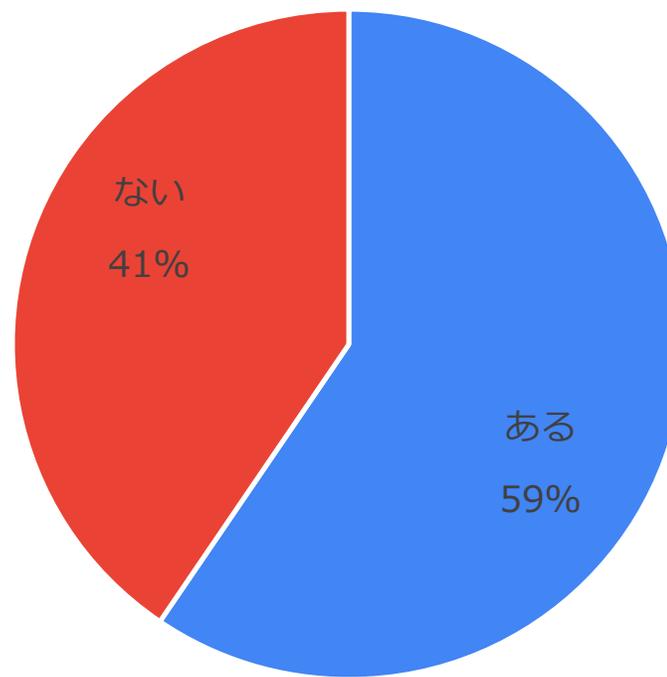
Q40.助成金を申請・活用したことはありますか？

サンプル全体に比べて助成金活用割合が低い

サンプル全体(499)



町田(79)



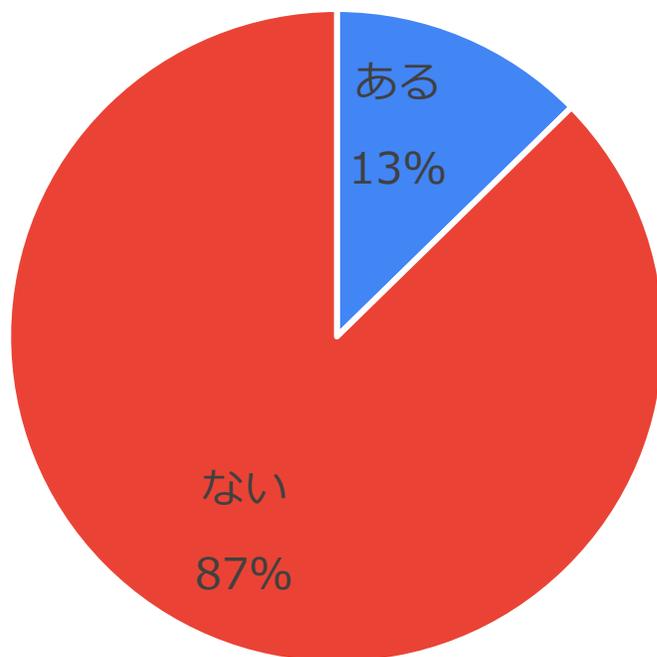


クラウドファンディング

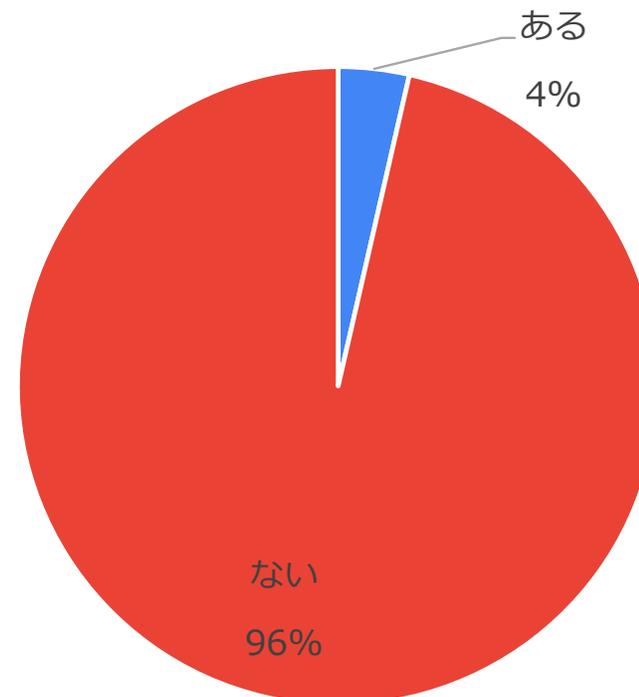
Q43.クラウドファンディングは
やったことがありますか？

サンプル全体に比べて**クラファン経験のある団体が少ない**

サンプル全体(498)



町田(84)





主な活動内容 1/3

【主な活動内容】 Q1.主な活動内容はどのようなものですか？（自由記述）

- アマチュアの人向けにダンスや歌、演劇などのワークショップを開催
- 若者と地域活動をつなげるまちづくり活動
- 「子どものいる暮らしの中ではたらくを考える座談会」を町田で開催しています。
- 不登校児童・生徒の支援（居場所づくり）、地域の理解促進
- キャリア支援
- 屋外型子ども食堂
- ものづくりと地域食堂を掛け合わせた多世代交流活動
- は中高年男性が、好きな活動に参加することで、自分の居場所を見つけ、経験や得意技を生かし、出番をつくることを応援しています。
- 市民の居場所作り
- ①若者支援事業：ひきこもりはじめ生きづらさを抱えた若者、家族の支援②自己表現サポート事業：音楽等文化活動、アサーション普及
- 寄木細工教室を開催し高齢者向けや小学生向けにも寄木企画やデザイン設計を図り参加者の創作意欲を高めている
- 身近な法律を学ぶ勉強会
- 年2回、未就学児とその保護者向けに子育てひろば（手遊び、工作、音楽あそびなど）を開催
- 介護保険事業（居宅介護支援・通所介護）
- 国際学の学習・意見交換
- 被災地への音楽・楽器の提供
- 町田市民ホールで年に6回、劇団を招いて芝居を鑑賞する
- 親子クラス（育脳要素を含めたリズムダンス）
- ユニバーサルスポーツ「ユニカール」で健康づくり、コミュニティづくり応援にて元気アップ町田！を図る
- 本棚を置く
- ジュニア世代への理科教育活動
- 就労施設B型 小動物園
- 地域高齢者のデジタルデバインド解消、多世代共生社会を実現するために、ボランティアのオンラインサポーターさんとともにスマホの使い方方を相談会にて支援
- 認知症の方や、デジタル操作が苦手なシニアの地域団体がオンラインイベントに参加するときのデジタル操作支援
- 落語および寄席演芸の普及・啓蒙
- 西アフリカにおける里山再生の実践活動と人材育成
- 地域における医療広報活動
- ICT知識で地域に貢献（各種講座、パソコン何でも相談室、出前講座）



主な活動内容 2/3

【主な活動内容】 Q1.主な活動内容はどのようなものですか？（自由記述）

- アートに興味ある方団体などの繋げ、芸術文化を身近なものにするように活動を広げています
- 福祉事業所運営
- 語りを中心とした、主に子供へのおはなし会活動
- 町田市内のボランティア団体が加盟している協議会です（現在22団体、5個人会員）
- 「飼い主のいない猫」にまつわる地域の問題に携わっています。野良猫がこれ以上増えないようにする為の「TNR活動」をメインに、やむを得ない保護もしています
- 高齢者や障害のある人たちの老化防止を目的とした趣味活動
- 英会話教室
- 障害者や高齢者の趣味活動をとうして生活に楽しみを持ち生き生きとした生活が出来るよう、陶芸、墨絵、フラワーアレンジメント、絵画等の講座を開いている
- きんじょの本棚（マイクロライブラリー）による地域と地域間連携のコミュニティの醸成
- 景観3Gとして市民による街歩きを行っている
- 地域住民との交流として、ガラスフュージング工芸を行っている
- 週2回、大人の学校／月1回、子ども食堂、コミュニティカフェ
- 英会話教室
- 「飼い主のいない猫」にまつわる地域の問題に携わっています。野良猫がこれ以上増えないようにする為の「TNR活動」をメインに、やむを得ない保護もしています
- 高齢者や障害のある人たちの老化防止を目的とした趣味活動
- 障害者や高齢者の趣味活動をとうして生活に楽しみを持ち生き生きとした生活が出来るよう、陶芸、墨絵、フラワーアレンジメント、絵画等の講座を開いている
- きんじょの本棚（マイクロライブラリー）による地域と地域間連携のコミュニティの醸成
- 景観3Gとして市民による街歩きを行っている
- 地域住民との交流として、ガラスフュージング工芸を行っている
- 週2回、大人の学校／月1回、子ども食堂、コミュニティカフェ
- 冒険遊び場の運営
- 視覚障害者のためのiPhone教室を開催
- 町田元気学ハイキングクラブ
- 講演や実技指導で、老若男女を元気にすること
- 不登校支援、青少年育成事業、児童福祉事業



主な活動内容 3/3

【主な活動内容】 Q1.主な活動内容はどのようなものですか？（自由記述）

- 市民に向けたヨガなどの健康イベント、ボランティアクラスの開催
- 障害福祉サービス（グループホーム）
- フリースペース／オルタナティブスクールの運営
- 建築とまちづくりのアドバイザー
- 音楽を通して、バリアフリーの社会をめざす
- 幼児から大人までのものづくり活動
- 発達障がいを含む育てにくいお子さんの親のサポート
- 居住支援法人活動
- ダンスや歌、お芝居などの表現を通して、生きることが楽しいと思える、居場所を作る団体です
- メンタル疾患のある方の社会復帰支援
- 子ども支援
- 主に子育てを担う母父(祖母祖父も視野に入れつつ)への子育て支援
子育てホッとカフェの運営や子育てに役立つ学習会など、および地域の遊び場への出前遊び会を行なっています
- 高齢者障がい者をはじめとする町田市民の住環境の改善の為の活動
- コミュニティ施設
- 妊娠、出産に悩む女性を1円で支援をする「円ブリオ基金箱」を市内各所に設置し出産したい女性の後押しをする
- 街頭募金活動
- 活動を広く周知するため講演会や、勉強会の開催
- 自分自身"を表す地域の演劇表現広場「表現の芽をはぐくむ会」
- 就労支援施設
- 未就園児親子向けサークル活動
- 聴覚障がい理解の啓発と手話学習
- 動物収容施設から捨てられた犬猫を引き取り、保護、治療、不妊去勢手術を施し新飼い主さんに譲渡しています子ども食堂の実施
- 生演奏でのイベント
- 日本とタヒチのダンサーやアーティストの共作。ダンス、ウクレレ、トエレ（タヒチの太鼓）など音楽文化を通じた異文化交流やフランス語やタヒチ語に触れる国際交流
- 0歳～18歳までが利用できる児童館の運営
- 町田地域における自然エネルギー啓発活動
- 緑地保全、まちづくり、里山の農業に対する支援、基金活動や将来の子供達への環境教育
- 墓地販売、終活講座
- コーラスサポート、音楽療法、演奏活動
- 知的障害のある方の就労継続支援事業



イベント開催場所 1/2

Q4.場所の名前（名称）を教えてください（任意・複数回答可）

- 町田市生涯学習センター
- 下小山田山王林公園、大善倶楽部、よりみち広場
- 鶴間公園
- エヴァグリーン・チャペル
- 地域の公民館、公的な施設（会議室など）、生活クラブ生協の施設
- 町田市民フォーラム
- 町田市民フォーラム、生涯学習センター、町田市内ライブハウス等
- 町田市なるせ駅前市民センター
- 町田市生涯学習センター
- 町田市生涯学習センター 町田市民フォーラム ことばらんど（市民文学館）
- 町田市生涯学習センター
- 町田中央公民館（町田市生涯学習センター）
- 野津田公園、高齢者施設清風園、総合体育館、地域市民センター、学校、子どもセンター
- きんじょの本棚
- 中学校などの教育機関、団体の活動場所
- 町田リス園
- 和光大学ポプリホール鶴川（多目的室含）、町田市民ホール（会議室含）、学校や幼稚園
- 町田市民ホールなど
- 市民フォーラム、せりがや会館
- 町田市中央公民館、市民ホール、薬師池西園など
- 町田市フォトサロン
- 文学館、町田市立小学校、及び、認可保育園
- 町田市民フォーラム、ぽっぽ町田広場
- 町田市保健所、武相動物病院、くれよん動物病院、グランベリーパークなど
- ライフベターたまり場
- 中央公民館
- 町田市民フォーラム、赤い屋根作業所
- 市民ホール、市民センター、ぼくはぼく等
- 野津田薬師堂
- 町田市内の公共施設
- 小学校・サービス施設・保育園・博物館
- カフェ レストラン リレイス
- せりがや冒険遊び場
- 町田市市民フォーラムの会議室など
- 川崎市麻生区の市民館「やまゆり」、座間市の寺院
- リシケシ・ヨガシャラ



イベント開催場所 2/2

Q4.場所の名前（名称）を教えてください（任意・複数回答可）

- ①ひだまり荘②高瀬住宅自治会集会所
- 市民ホール会議室
- ぽっぽ町田、市民ホール会議室など
- 秋のわくわくコンサート「夢・響き愛」
- 子どもセンターまあち、町田第一中学校、
社団事務所、町田市生涯学習センター、
幼稚園、小学校、中学校、放課後児童ク
ラブ
- 町田こどもMURA
- 町田市民フォーラム及び町田市内当法人
事務所
- 和光大学ポプリホール鶴川
- 市民センターや公園、冒険遊び場 など
- ヨリドコ小野路宿（自施設） 市役所
野津田公園 小野路地域の竹林 zoom
- 町田市民フォーラム
- つくし野コミュニティセンター、太子堂
八幡神社
- 町田リス園
- 児童施設、老人福祉施設など
- 小山市民センター、子どもセンターぱお
分館、親子向けカフェ等
- しぜんの国保育園 きゅうえんしゃ
- 和光大学ポプリホール鶴川、高齢者施設
- 町田市役所、まちだ中央公民館、町田市
民文学館ことばらんど、まちの縁側一丁
目の加々美さんち、みなさんの居場所ぼ
くはぼく
- 多摩丘陵ほか近郊の里山、公園
- 小山田桜台・地域交流スペースよりみち
広場
- 町田市所有の多摩北部竹林 市内のコー
ヒーショップ、市民センター会議室、市
民フォーラム等。地域集会所（まちの保
健室）書店（TSUTAYA町田木曾店）テ
ニスコート（山崎CIハイツ）
- もうひとつの我が家
- 町田市民ホール
- クラフト工房LaMano脊振山麓習遊館
- 脊振交流センター
- 久保山地区
- 町田市立本庄公民館
- 町田 市民活動プラザ
- 町田市商工ビル1階研修室A
- KOKOROの相談室
- 町田市民活動プラザやアバンセ等
- NPO法人ポコアボッコ
- どんどんどんの森ふれあい広場
- 町田駅前広場など
- 町田県立美術館ホール



協働・連携先 1/2

【協働・連携】Q13.具体的にどんな団体・機関とどんな連携をしていますか？（自由記述）

- 小学校
- NPO・市民活動団体
- マザーズハローワーク、保育園
- 町田市児童青少年課、清住平自治会、下小山田町内会、町田市青少年健全育成小山田地区委員会、近隣小中学校、不登校の保護者の会、東京未来大学
- 行政
- 企業
- 自治会
- NPO、小学校、子供会、老人福祉施設、社協など
- 町田市社会福祉協議会
- 市、市民活動団体、同分野NPO、地域NPO、社会福祉協議会など
- 町田市社協加盟グループや教会・学童保育等要請があれば開催
- 町田市高齢者支援センター
- 町田市の講座（法律分野）参加者へ当団体の紹介をしてきました。
- 町田市生涯学習センター
- 介護保険他事業所
- サポートオフィス等
- NPO・市民活動団体・自治会・町会・行政・社協
- 町田サポートオフィス、鶴川地区協議会、鶴川福祉協議会、野津田公園、町田市体育館、子どもセンター
- 中学校、学校支援ボランティアコーディネーター
- 地区協議会、市民活動団体
- 他の文化・芸術活動を行っている法人や個人、学校寄席開催の学校、助成金助成の公益財団法人、独立行政法人等
- 小中高校
- 自治会、市民活動団体など
- 市立図書館、町田SJC
- 市民活動団体、企業
- 行政／小学校／保育園
- 町田市社会福祉協議会、町田ボランティアセンター、町田市民サポートオフィス
- 町田市保健所、町田動物愛護の会
- 支援センター、行政、Dサービス等
- 町田市地域活動サポートオフィス
- 町田市地区まちづくり課
- 保育園・小学校放課後子ども教室・小学校サマースクール・障がい者支援施設ディサービス
- 高齢者支援センター、地区協、社協
- "町田市子育て相談センター：子育てカフェというイベントの時に年3回保育士を派遣してもらっている。



協働・連携先 2/2

【協働・連携】Q13.具体的にどんな団体・機関とどんな連携をしていますか？（自由記述）

- 市民活動団体、高校、大学
- 町田市地域活動サポートオフィスの支援を受けたり、町田市の「まちカフェ！」などのフェスティバルに参加したり、町田市南地区社会福祉協議会のフェア等に参加
- 連携協議会
- 自治体、市民活動団体、企業
- 福祉・医療関係
- 学校および教育センターと情報共有
- 地区協議会からの援助と団体からの報告
- 町内会・自治会、小中学校、消防団、青少年健全育成会、消防団
- 行政、町内会・自治会、社会福祉協議会他諸団体、一般企業
- MACHIIDA響きの森オーケストラ
- 個人事業主
- 連携協定書を締結して活動している。とりわけ企業／保育園・幼稚園／小中高校／大学／行政／社協。中等・高等教育機関の教員・生徒・学生とともに子どもたち・大人に対して教材開発をしながら地域教育を進めている。チラシの配布等を協力して頂いている。
- 行政、社協、NPO法人等
- 小・中学校
- NPO、市民活動団体、行政、社協、高校等
- 他のNPO団体、町田市教育センター、子どもの在籍中学校担任、副校長
- 冒険遊び場
- 行政
- 地区の小学校 高齢者包括支援センター 障害者施設 町内会 地区の市民活動団体
- 市民活動団体
- 法政大学校友会、法政大学多摩祭実行委員
- 同じ志を持つ活動団体（アマタメ企画さんなど）と今後協働を検討したい
- 2022年度に町田市交通安全課・市民活動サポートオフィスと連携。2023年度まちカフェにて市民活動団体と協働。
- 小中学校での手話指導
- 主旨を同じとする愛護団体
- 市のあっせんで近隣の食堂と知合いになることができた。物資の流用や情報交換 助成金情報など教えてもらっている
- 企業、保育園・幼稚園、商店会、町会
- 町内会・自治会、小中学校、企業、行政、社会福祉法人など
- NPO・市民活動団体／保育園・幼稚園／小中高校／大学／行政



IT関係の悩み・課題

【IT関係の悩み・課題】 Q29.IT関係での悩み・課題にはどのようなものがありますか？（自由記述）

- Cやスマホを持たない会員がおり、電話や手紙でコミュニケーションをとっている
- 会員のスキル不足
- 知識のある職員が一部に限られる
- IT使えない年配の方への連絡
- ITに詳しい人材が少ない
- アナログ会員への連絡
- IT関係を分かる人がかなり少ない
- ITに弱いので十分な活用出来ない
- 活動のHPなどが作りたいと思うが、能力がない。
- ズームをもっと活用したいと思っているができていない。有料のズームに踏み切れない。
- 事業所の規模が小さいので必要性を感じない
- IT関係に詳しい人材が不足している事
- SNSなどを使うべきか。誰が管理するか。
- 詳しい者がいないため、気軽に発表用の資料などは作れない
- IT関係が詳しいスタッフが一名しかおらず、負担がかかっている
- 若い人がいないので、イベントなどの告知が思うようにできない。
- 知識、技量の不足で十分活かせていない。
- 参加者さんがZoomに抵抗もある方もいる
- 使える人ばかりが有利になってしまう（☎対応も受付ているが、正直フォームで応募は便利）
- 団体のホームページが無い（SNSはある）
- 保守の人材が外部中心で経費課題あり頻度が低い、
- ITに明るいものがない



広報の悩み・課題

【広報の悩み・課題】 Q38.広報についての悩み・課題にはどのようなものがありますか？（自由記述）

- 届けたい人に届いているかが分からない
- 認知が広がらないこと
- ホームページやチラシ制作の人材に限られる
- マーケティングの知識を持った人が少ない
- 宣伝の仕方、認知度を上げる為にどうしたらいいか。
- 日々の業務で十分な広報活動ができていない
- デザインをお願いする余裕が欲しい
- 高齢者が多く、デジタル化が進んでない。
- 活動をしながらの広報なので時間がなかつたり上手に広報出来ない時もある
- インスタやX等、若者が使う媒体に十分な情報発信ができていない。
- チラシやホームページにデザイナーを頼む資金がない。
- 広報に限らずスタッフの高齢化による能力不足
- 担当を置くことが出来ないことから、必要に応じて外部に委託しなければならない。
- スタッフが足りない。
- チラシを配布したりもしているが、集客が思うようにできない
- 広報ができるスタッフが2名であるため、全員が頻繁に情報を上げることができると良いと考えている
- 定時的に出来るといいのだが、なかなか時間が作れない
- SNSを使って広報したいが、会員の中でできる人が少ない
- イベントのチラシ作成できる人がいない
- 会報を作成出来る会員が、病気で活動出来なくなった。
- 人手不足で告知開始が遅れる



組織の悩み・課題 1/2

【人と組織の悩み・課題】 Q23.人と組織での悩み・課題にはどのようなものがありますか？（自由記述）

- 自分と同じ方向性を向いているかどうか
- メンバーの家族が活動に協力的かどうかで参加のしやすさが異なる
- 懇親会なども行いたい予算がない。もっと組織内でコミュニケーションを取りたい。
- 交流会をやりたくても資金が無い
- 担当者の事務・PC・ITスキル向上
- 会員の高齢化
- ①業務過多になりがち②職員のメンタルヘルス③非常勤職員だけなので一同に集まり目線合わせをする機会がなかなかもてない
- 新規参加希望者への指導
- 会員の減少
- ビジョン、ミッションの統合
- 雇用関係のない組織の活動では信頼、共感、透明性など求心力を保つ努力が必要だと思います
- あたらしいメンバーとの信頼関係の構築
- 人件費、マッチングした人材の確保
- 会員の確保が難しい
- イベントなどの組織でカバーができず、個々の責任が多くなる事、定期的開催していく事が負担となっていく事があります
- 若い人の入会が少ない
- 役員のなり手が不足。同じ役員が数年続いてしまい、刷新化が不足。
- 皆の「正義」がそれぞれでまとまらない時がある、40～80代までとメンバーの年齢幅が広いので感覚の統一が難しい
- 理事は5名ほどいるが、高齢のため活動出来ない
- 後継者が居ない
- 時間が空いている時にイベントの協力を頼むので、平均的なスタッフがいない。謝金の支払いをどこまでして良いか分からない。



組織の悩み・課題 2/2

【人と組織の悩み・課題】 Q23.人と組織での悩み・課題にはどのようなものがありますか？（自由記述）

- 今後のことを考えると、若い世代のスタッフの確保が必要
- 多様なメンバーが対話し協働することの困難
- 財務や決算を行えるメンバーが不足し、現担当に負荷が集中する。後継者が見つからない。資金不足なため、税理士や会計士は頼めない。
- 視覚障害者が外出して活動するにはガイドヘルパーが必要だが、割当持ち時間が不足し、活動に支障を来す。
- 規模が小さいため非常時の業務存続に不安
- ①人により作業負担の差が大きい。
②収益化できたいないため、ボランティア活動になってしまっている
- 運営業務の負担（スタッフの関われる時間が少ないため）
- 交流を図る時間がもっと必要と感じていると
- スタッフが固定化しているため新しい発想が生まれにくい
- 高齢化
- 活動する人が増えない、資金がない
- それぞれ本業を持ちながらの活動なので、事務的に滞ることがある
- 現在の悩みは兎に角マンパワーが不足です
- 自分だけしか知らないことが多く 次の方へ続けていくのに課題がある
- 熱量の異なるスタッフのモチベーションを合わせる
- 事務局運営が一部の人に依存している
- 皆さん、忙しく、企画したくても、実施できないことがあり諦める
- 自発的自由意思で集まっているので、続けられなくなったときは、いつでもだれもが自由に活動をやめることができる。



コロナ禍で大変だったこと 1/3

【コロナ編】 Q48.コロナ禍で最も大変だったことは何ですか？（自由記述）

- 計画していた活動がとん挫してしまい、メンバーのモチベーションが下がった
- お子さん連れの方もいるので、リアル開催してよいかの判断
- 対面不可
- 活動の源泉である「活動・行事」が開催できない日々が続いた。高齢者ばかりの会なので、家族に反対されて参加できない人もあった。
- イベントの中止
- 読む人のまえに仕切りを張ったこと 消毒 マスク着用 などお願いしたこと
- 勉強会中止の連絡、会場のキャンセル。
- 集まって活動が出来ないこと
- 人の行き来がなくなった。
- 会員が減って収入が減ったこと
- 安全、安心、対策、会場確保
- 入園者制限
- そもそもイベントが開催できなかったこと、人の動きが止まってしまったこと
- 現場へ行けなかったこと
- 企画の中止、延期など
- 対面での例会と勉強会
- イベント、例会の対面ができなかった事です
- 学校、等からの依頼が全くなかったこと。会議室が使えなかったこと。
- 対面の会議がもてなかったこと。
- 譲渡会場でのコロナ対策、メンバーが罹患しないか心配だった（シェルター当番は代わりがない為)
- 参加者もなく運営が出来なかった。



コロナ禍で大変だったこと 2/3

【コロナ編】 Q48.コロナ禍で最も大変だったことは何ですか？（自由記述）

- いつまでどうなるのか見通しが立たなかったこと。
- 参加者の希望に応じられなかったこと
- 家にこもってしまい本人も介護者もストレスでいっぱいでした
- 逆に、コロナ禍で普及が促進された。
- 定期的なミーティングができなかった
- イベントが何も出来なかった。
- コロナ禍は全て中止していましたが、大人の学校の方は高齢者の方ばかりで、ずっと家に籠ることになってしまい、健康面の不安もあり、再開して欲しいという声が多くありました。
- 団体内、また地域と繋がるうえで、集う機会を持つことに制約があったこと
- 活動を休止(冒険遊び場の臨時休園) せざるを得なかったこと。
- 例会が開催出来なかったこと
- 講演活動ができなかった事
- 感染対策、イベントの再調整
- 利用者・職員の健康管理、発熱時等現在進行形で大変、行政の指示で週一のPCR検査継続中
- スタッフや家族の感染により人手が減る
- 業務上の交流が制限され、受注業務が円滑に進まなかった。
- コンサートが少人数でしかできなかった事。会員が減ったこと。
- 対面でできなかったこと。Zoom等のオンラインで行ってきたこと。材料の送付、参加費の振り込みなどその仕組みをつくることが大変だった。
- 元々茶話会をしていたが出来なくなったこと
- 利用者減少、イベントの開催現象



コロナ禍で大変だったこと 3/3

【コロナ編】 Q48.コロナ禍で最も大変だったことは何ですか？（自由記述）

- その間に子どもたちや子育て中の保護者にどのような形で体験の機会や安心感を提供できるか、試行錯誤した。
- 子どもたちと会えなかったこと
- 活動の自粛
- 対面での活動が行えなかった事
- 地域住民を積極的に呼び込むことができず、訪れる人のみを受け入れた。
- 参加者が集まりづらい 告知しにくい雰囲気
- 職員・利用者の感染、入園者制限
- 活動の急な中止や、月齢会議を急な中止で連絡を徹底する為の気苦労。
- 対面で行ってよいものかととても迷った
- 対面での活動ができなかったこと
- 譲渡会是对面なので回数が減ったこと。
- 会食を始めるのに、対外的にどのような印象があるのか怖かった
- 演奏活動がほとんど無くなっていたので演奏者のモチベーションを保つこと
- イベント開催ができない、オンライン開催をしたりしたが、自分たちでやるにも限界がある事感染しないように対策をしたこと
- リアル開催がやりにくくなった
- イベント開催が出来なかったこと
- 人を集める企画が出来ない（収入がない）
- 認知症に人の症状悪化
- 高齢者とお話することが多いため、パネルを置く、消毒を行っていた。
- 音楽活動が主の為対面できない事が大変だった
- 演劇の上演ができなかったこと



コロナ明けの課題感 1/2

【コロナ編】 Q49. コロナ禍に収束の見通しが立ってきた今、活動を進める上で課題に感じていることは何ですか？

- 世間のコロナに対する対応に、ばらつきがあって、行事や活動ごとに自主的な規制が必要なこと。また、会員の考え方も多種多様なこと。
- 会員の高齢化
- 主催する上で精神的に楽になってきた 此れからは一人暮らしのお年寄りの皆さんに積極的に朗読カフェ町田の開催を知らせていきたいです
- 各個人のコロナに対しての認識の違い
- 参加者の意欲・問題意識・好奇心の衰退。
- 活動場所の確保、集客
- 人の動きが戻らない
- イベントへの参加が途切れてしまったこと
- 講座の開催と出前講座の実施
- 資金繰り、スタッフの増員が必要なことです
- なかなか、学校からのおはなし会依頼が元のように戻らない。
- デジタル化を進めたいが（Zoom会議等）、まだ、賛同が得られない。
- 講座によって参加者が増えてきたこと。場所がない。
- なかなか人な集まらない
- 改めて「何がやりたかったのか」が問われている
- 会員の高齢者
- スタッフの確保
- この機会に活動に関する見直しを図ること
- 人数が減ったことによりオーケストラの編曲が大変になった。
- 現在、対面方式とオンライン方式の2方式で行っている。チラシへの広報の仕方、参加費の違いをどのようにするか課題。
- ご近所さんの来場率が低い



コロナ明けの課題感 1/2

【コロナ編】 Q49. コロナ禍に収束の見通しが立ってきた今、活動を進める上で課題に感じていることは何ですか？

- スペースは広く、換気の良い子育て支援場所の確保がむずかしい
- 高齢化の進展
- 何があろうとやり続ける覚悟
- コロナ中に体調が悪くなった方多く、動ける会員がいなくなった。
- 心と心のつながり
- 人手 ボランティアスタッフ
- 同じような状況になった時に困らないように生演奏派遣業以外の事業を考える
- リアル・オンラインのハイブリッド開催のノウハウ不足
- 組織の運営
- なかなか、ひと（高齢者）が出てこない（参加意欲が落ちている？）
- 以前に活動していた人が、復帰できなくなっていること。
- コロナに対しての価値観の差があり、意見が食い違う。
- コロナ禍による減員を回復させるために広く存在を周知する方法